

平和を願い、集い、歌う

伊那民報

発行：日本共産
党伊那市委員会
伊那市狐島3879
TEL：72-2465
HP：jcp上伊那

戦争と原爆許すまじ

8月は「平和を守り、平和憲法を変えるな」のとりくみが民主団体や宗教界などで盛んにとりくまれ、たたかいを前進させています。



「平和の祈り」の市民集会

「平和の祈り」の市民集会
広島原爆投下の8月6日、伊那市で市民平和祈念式典「平和の祈り」が、「原爆の火」が燃え続ける丸山公園の平和の塔の前で約50人が参加して開かれました。

これは「非核平和都市宣言をさらに進める伊那市民の会」が毎年、



雨の中、平和の塔に献花する参加者

行っている平和行事で、建石繁明運営委員長のあいさつにつづいて、伊那市長のメッセージの紹介、市議会代表の若林敏明議員と同会代表委員の角田泰隆常任住職のあいさつと、松井一寛広島市長、田上富久長崎市長のメッセージの紹介がありました。

第4回 平和音楽会開かる

「第4回平和音楽会 in 南箕輪」(うたごえサークル「ざざむし」主催)が、8月4日、南箕輪村民センターで行われました。

第1部は上伊那地方を中心とした4つの音楽団体が賛助出演し、合唱や和太鼓・器楽の演奏などが

ありました。



「平和の旅へ」を合唱する団員

第2部は、うたごえサークル「ざざむし」と、この歌のために特別に募集したメンバーによる、長崎の被爆者渡辺千恵子さんの半生を描き核兵器廃絶への願いをこめた「平和の旅へ」(合唱と語りによる構成)で、核のない平和な社会の実現を訴えたものでした。あちこちで、目頭を押さえている聴衆の姿が見られました。また、「日本国憲法第9条」の合唱もありました。

約200名の聴衆の一人Aさんは、「毎年聴きにきていますが、年々、内容も充実してきてとても素敵な音楽会です。『平和は、たかいたるもの』という言葉のたいせつさが実感できます」と感想を話していました。(高橋)

地 蜂

このところのなんとも言えない不快感。加えて真綿で首を絞められていくような息苦しきさもありませぬ。夏バテか？

いえいえ、TPP交渉の守秘義務と原発の汚染水処理問題の理不尽さで暗澹たる気分。日常生活において秘密にするのはどんな時か？知らせるにはまだ早すぎる時。知らない方が幸せであると思われる時、など。いずれにせよ、相手を思いやるがための手段でしよう。秘密にする場合、相手に対する誠実さがなければ、単なる裏切り行為になってしまう。TPP交渉での「守秘義務」とは、一体誰のためのもの？守秘義務は交渉参加国すべてが対象になるとされますが、米政府は多国籍企業などに交渉情報を伝えていることが明らかになりました。まさしく多国籍企業が交渉を主導し、情報も共有しながら結論を国民に押し付ける構図です。「守秘義務があるから言えない」というなら、与党として政府を支えきれなくなる」と自民党内からも非難の声が上がっています。(汚染水問題のスペースがなくなりました。悪しからずご容赦)9月、伊那市でふたたびTPPについての講演会が行われます(4日午後6時半、JA上伊那本所にて)。TPP交渉が、いかに反国民的性格を持った前代未聞の異常な貿易交渉であるかを、今一度みんなで学び、秋のたたかいを盛り上げたい。(武田美)

核兵器・原発なくせ

原水禁長崎大会に参加

GFP（ゴフオーピース）上伊那の企画による原水爆禁止世界大会参加ツアーが、8月6日から10日の日程で行われ、20代〜50代の男女11人が参加しました。運動の担い手を育てながらの参加は、今年で五年目になりました。

同会では、募金を寄せていただいた方には報告集をお渡しする計画で、作成中とのこと。参加したTさんは「原爆病院に入院中の被爆者や今も後遺症で苦しんでいる方の生々しいお話、長崎の市長さんの挨拶を直接聞いて、あらためて核兵器は許せない、原子力発電所も止めさせなければと思いました」と語っていました。

「武力でなく和解による平和の実現」を目指しているキリスト教団

いることなふれ、「今の政府の状況は軍国主義そのもの」「膨大な国の借金を抱え軍事費を膨張させ、アメリカと一緒に戦争する国づくりに暴走している」「これをマスコミや学者の多くは批判していない」と指摘。同時に、

池上洋通氏（多摩住民自治研究所）を招き「憲法とは何か」「立憲主義」と公務員」と「原発とマネー、地方自治体の財政

日本国憲法にふれ、「権力者の危険な暴走を食い止め、抑えることが出来る」とし「憲法は主権者（国民）が権力者を縛るためにある」と明かしました。また、「憲法によって政治と社会をつくっていく事」と「今こそ小中学生から暮らしの中で憲法の内容を正しく、しっかり学びつむことが大切」と力説しました。



憲法を学ぶ参加者

講演が行われ、池上さん、民主党などが96条の改憲を狙って

「憲法を生きる」講演会

キリスト教日本友和会

「憲法を生きる」講演会
池上さん、民主党などが96条の改憲を狙って

私が入党したのは1963年12月、伊那市連合青年会の次年度役員が出揃って、さあこれからという時でした。ある日、会長や大先輩会長に勧められて、割合すんなり入党申込書を書きました。

中国からの引揚げ者で開拓農家の長男として、まだ開田される前の畑作一本の時代、酪農中心で、親類に慶弔事があってもいつも留守居役で、従兄弟の名前も知らない、貧乏で赤旗日曜版も読めない状態でした。

翌64年には東京オリンピックがあり、田楽座が秋田のわらび座から株分けして富県に根を下ろしたのもこの年でした。オリンピック開会式の10月10日、伊那市民会館を超過員

入党の頃のこと

上原 中村 光利

にして、長野県山岳連盟がヒマラヤのギヤチュンカン峰登頂に成功した記録映画を上映して、大成功したことが一番の思い出です。

今年50年顕彰を受けられたのも、命を危うくするような大病も無い体に産み育ててくれた両親のおかげと感謝するとともに、多くの方々に支えられて今日があるとしみじみ思います。

今年、上伊那の50年顕彰者は34人なのに、30年の永年顕彰が1人というのは、50年前ほど大いにもりあがったのに持続してこなかったという痛苦の教訓です。

50年のうちにはいろいろあったけれど、今年の参議院選挙の結果を報じた7月23日付の赤旗を配った時の喜びは、配達者真利に尽きるものがありました。

これからもできることを変わりがくがんばりたいと思っています。

共産党

創立91周年

8月11日、党創立91周年を祝う集いが駒ヶ根市内で開かれ、50年・30年の永年表彰黨員をはじめ、新入党者など多数が参加しました。

大我地区委員長の挨拶のあと、参議院長野選挙区で奮闘した唐沢ちあきさんのお礼の挨拶がありました。



永年黨員表彰を受ける中村光利さん

和やかな懇親会につづいて、出席者みんなで肩を組んで「がんばろう」を歌ったりして、91周年を祝いました。

若者が正規で働ける場所を

前沢けいこ市政報告会

8月22日、西箕輪老人憩いの家で前沢けいこ市政報告会・懇談会が後援会と共産党ファンクラブの共催で開催され、16人が参加しました。

今年二回目の報告会では、前沢市議から、7月の参院選へのお礼と6月議会でも取り上げた自民党の改憲草案と保育園民営化問題や、最近の生活相談の事例として、伊那市の滞納整理の実態などが報告されました。

参加者からは、若者が正規社員として働く場所が少なくなっていることや、非正規労働者が使い捨てられているなどの実態が語られました。

また交通問題など市民の要望に対して、共産党や党市議団として方向性を示して欲しい等の要望も出されました。



市政について懇談する参加者

前沢市議は「みなさんの要望を議員団として討議し、市政に反映していきます」と決意を述べました。

『くずい屑屋でござい』
 9月22日(日)
 14:30 塩尻市
 レザンホール
入場無料!!
 地区まで連絡を
 72-2456

市民から電話で要望が寄せられた時、即答できるものは少ない。

ただ、そういう意見を言える場所に頂いた「お新盆が派手になって困る。夏は暑いので食物も傷む。簡素化に取り組んでほしい」という要望は、市役所企画課で現在アンケートが行われています。

市政へのご意見・ご要望をお待ちしています。



窓
 ご意見・ご要望を
 柳川ひろみ

何年も前の一般質問が実現できることがあります。一般質問をする時は、十年後二十年後を見通して、必要と思うことをテーマにするようにしています。そういう地味な質問は新聞には載りませんが、実現した時はうれしいものです。一人でニヤニヤします。

営業とくらしを守る商工フェア

上伊那民商が初開催

伊那太鼓ともちつきで開会した第1回商工フェアが、8月25日いなかせ北側広場を中心にくりひろげられました。「中小業者の営業とくらしを守り、商店街の活性化を」と上伊那民商が開催したものです。重量当り丸太切り、塗り壁、

包丁研ぎなど10の体験コーナーと骨盤体操や健康チェック、料理教室

安心安全のヘアケアなどの10の健康コーナーにたくさんの方が参加しました。



伊那太鼓ともちつきで開会

子ども連れの子の三十代の夫婦は「セメントや木材に手が触れさせることができませんでした。良い思い出になると思っています」と語っていました。



こてを手に塗り壁を体験することができました。良い思い出になると思っています」と語っていました。



十着といふこと
 建石繁明 2

人は誰でも地域でしか生きられません。伊那谷という場所でも生きられません。伊那谷が文化が果てる所、飲み屋とパチンコ屋だけしかない所であってもです。

伊那谷の農学部で3年生活していても、鳥の声も聞かず、松の花粉も見ず、仙丈ヶ岳の雪も見ることがないという学生もいました。

人は食べて、寝て、排泄する偉大な存在です。生物で、動物の哺乳類に属するヒト、人類は地球を占有して、我が物顔に振る舞い、自然を破壊し、他の生物を自己の奴隷のごとく操り、改造をしています。

科学は無限の進化を遂げ、原子爆弾と原子力発電所を作っていました。核兵器の開発競争はとどまるところがありません。

でも私たちは、地域以外の場所では生きられません。しかも、土に足をつけて、世界と強い糸で繋がっている存在です。

みんな、楽しく、仲良く、幸福に生きたいのですが。

百歳を迎えた今も 共産党は好きだから(下)

高遠町 馬場ちほるさんの語る

選挙では、家に来る人の接待などで4斗の味噌を造ったり、深夜2時まで働き、朝6時には来る人の相手をしたりと、まるでお客さんの相手をしているようでした。体調を崩して、片目が全然見えない状態になり受診すると、睡眠不足・栄養(ビタミン)不足が原因とのことでした。医者から手術を勧められましたが辞退し、(入院して家を空ける事が無理なので)薬を飲んで何とか治りました。

その後、胃がんになり、2回の手術を受けました。医者からは「無理はしないよ」と言われたけれど体力があったから早く回復出来たと思います。

町長だった恒好さんは無党派で、私とは考えは違っていたけれど、私は(16歳頃から)共産党の正直な所がすきでした。林百郎さんの選挙の街頭演説の時、誰も周りで聞いている人が無く、私一人が聞いていました。後で、恒好さんが、「林さんが『馬場さんが一人私の話を聞いていてくれてうれしかった』と喜んでいたら」と教えてくれました。

同じ町内のKさんとは大の仲良しで、党への支持や署名をしてくれたことをいつも思い出します。(馬場さんは精力的に誰にでも党の事を語りかけ、署名活動を行っています。)

何も出来ない今は、長く生き過ぎた、死にたいと思っています。けれど、朝食前には赤旗を欠かさず読んでいます。とにかく共産党は正直だから大好きです。共産党は正しいから、都議選と参院選で議席が増えただけです。

「今の人に言いたい事は？」の問いに「とにかく頑張っしてほしい」。志位さんの記事を見て「ガンバッテ！」と呼びかけているという、熱い馬場さんでした。(文責・石川)

催し案内

「脱原発」いな金行動

毎週金曜日午後6時～6時30分

いなっせ北側広場

主催：さよなら原発上伊那の会

連絡先：医療生協組合員センター

金子勝「経済講演会」

9月4日(水)午後6時半(6時受付開始)

J A本所3階フラワーホール

講演 金子 勝(慶應義塾大学教授)

「日本の将来はどうか」

～時事問題(TPPなど)から

あすの農業を展望～

主催：J A上伊那

さわやかウォーキング

9月10日(火)午前9時50分

箕輪町一の宮公民館駐車場集合

*お土産あります。

主催：上伊那医療生協健康づくり委員会

連絡先：組合員センター(79-8702)

第36回赤旗信州秋まつり

10月13日(日)午前9時開会

場所：やまびこドーム(松本市)

*記念講演：市田忠義書記局長

*メイン企画：歌手 太田真季

*ご家族揃って楽しめます。

*伊那からバスが出ます。

詳しくはお近くの共産党市議

または民主会館(72-2465)まで。

絵手紙

東春近 横田 美幸



飯島光豊後援会マレットゴルフ大会

10月13日(日)13時開場

場所：東春近マレットゴルフ場

懇親会はJ A東春近支所

連絡先：渡辺(72-4748)

市川(73-2928)

お便り、情報、原稿をお待ちしています。

どんなことでも結構です。

発行元までお寄せください。(編集部)